

人間ドックにおける大腸 CT 検査の有用性に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

「大腸がん」は早期発見・早期治療が重要な疾患であり、そのため大腸がん検診が広く実施されています。予防医療センターでは2010年より大腸CT検査を導入し、これまで継続して運用してきました。大腸CTはCT装置を用いて大腸腫瘍を検出する方法ですが、人間ドック受診者を対象とした大規模データに基づく有用性評価は、これまでほとんど行われていません。そこで本研究では、大腸CT検査の精度および安全性を評価することを目的とし、要精検率、精検受診率、大腸腫瘍発見率、がん発見率、偶発症の頻度について調査します。なお、大腸CTの検査結果および精査後の返信記録から得られた情報を使用するため、新たに検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2010年4月～2024年3月に予防医療センターにて人間ドックとして大腸CT検査を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、大腸CTの検査結果、精査後の結果

研究予定期間

2026年3月11日～2026年6月30日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 予防医療センター 満崎克彦

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 予防医療センター 満崎克彦

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)